

医師の日常業務について

皆さまに当院の医師についてより一層のご理解をいただくため、各医師の日常業務をシリーズで紹介してまいります。

辻 哲平 先生（内科）の一週間

循環器内科を専門とし、なかでも閉塞性動脈硬化症の患者さんを中心に診療しています。足の血流が悪くなることで歩きにくさや痛みが生じる病気で、早期発見と適切な治療がとても重要です。外来は火曜日と木曜日に担当しており、患者さんの症状の変化を確認しながら、生活習慣の見直しや薬物治療、検査や治療の相談を行っています。

水曜日は香川大学で勤務しています。外来診療のほか、カテーテルによる検査や治療、研究活動、学生への教育活動など、多くの役割を担っています。若手医師への教育医療の現場で得た経験を学問的に深め、それを次の世代につなげていくことは、大きな責任であると同時にやりがいでもあります。木曜日には、血管内治療の検査や治療を行っています。カテーテルと呼ばれる細い管を使い、血管の中から病気にアプローチします。この治療は、看護師、検査技師、放射線技師など多職種のスタッフと協力して行うチーム医療です。安全で質の高い治療を提供するためには、日頃からの連携と信頼が欠かせません。

週末は救急医療教育を行っています。心肺蘇生を中心としたシミュレーショントレーニングの講習会で、県内外の施設に指導者として招かれています。地域の医療者が自信をもって救急対応ができるよう支えることも、若い医師だけでなく、様々な医療従事者へ伝えることは大切な役目だと考えています。

このように、日々の診療から教育まで幅広く活動をおこなっています。



中村 賢史 先生（内科）の一週間

月曜の午前は腹部超音波検査と上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）を行なっています。午後については下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）を行いつつ胆道、膵臓疾患について超音波内視鏡検査、ERCPを行うこともあります。

火曜は午前・午後ともに外来診療です。腹痛や便秘等の一般的な消化器症状から便潜血等の2次健診、胃癌、大腸癌、膵臓癌を含めた抗癌剤治療も行なっています。悪性疾患については一人一人の背景、病状に応じて積極的治療だけでなく緩和治療も含めたベストな選択肢を提案していくことを心がけています。

水曜の午前も火曜と同様に外来診療を行なっています。午後は救急対応に当たります。肺炎等のcommon diseaseだけでなく胆管炎等の胆道感染症についても必要に応じて内視鏡治療や外科とも連携し治療を選択しています。

木曜についても下部消化管内視鏡検査を中心に内視鏡検査を行なっています。

金曜も上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査を行っています。いずれの曜日にも必要に応じて緊急処置が必要な場合には合間で行なっています。

日常診療において当院ではCT、MRI、PETといった画像検査を活用しつつ適切な診断と治療を心がけています。

胆道疾患に対しての治療として総胆管結石や膵臓癌、胆道癌に対する内視鏡治療（ERCP）については通常内視鏡よりも偶発症の危険が高いため症例毎に必要な処置を安全に行うことを心がけています。消化器分野だけでなく、一般内科についても地域医療に貢献できるようスタッフと連携しつつ日々の診療に取り組んでいます。



花井 伶 先生（歯科）の一週間

当院では月曜から金曜まで外来診療をメインに歯科診療を行っております。診療内容は口腔外科領域はもちろん、一般歯科治療（虫歯、入れ歯治療等）も行っております。

木曜日午後には香川大学医学部附属病院より非常勤講師によるインプラント相談や悪性腫瘍関連のより専門的な治療を行うことが可能となっています。（水曜日午後は場合によっては予約制限をしております。）

入院患者さんに関しては全身麻酔手術前の誤嚥性肺炎予防のための周術期口腔ケア、他科での入院の方の歯科治療や、寝たきり患者さんの口腔ケアやリハビリ治療等を看護師、医師、歯科医師、歯科衛生士、リハビリの先生方と情報を共有しながらよりよい治療を提供できるよう精一杯心がけております。

特に近年骨粗鬆症の患者さんが増えており、一見何も歯科と関係なさそうですが一定の薬による顎骨壊死といった重大な副作用を抱えており、歯科業界を悩ませております。

是非とも骨粗鬆症と診断された方ばかりつけ歯科治療等ない方は、気軽にご相談いただけたらと思います。もちろん薬を開始された方でもこれ以上悪化しないように予防していくことが大切です。その際もご連絡頂けましたらと思います。

今後当科では気軽に歯科治療に関して相談できる環境作りをスタッフ共々心がけていきますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



新しいMRI装置導入のお知らせ

安心して受けられる検査です

MRI装置（磁気共鳴画像診断装置）は、強力な磁石と電波を使って体の中を詳しく映し出す検査で、放射線を使わないため、体への負担が少なく、安心して受けられます。特に脳や関節など、やわらかい組織の状態を調べるのに適しており、病気の早期発見や治療方針の決定に欠かせない存在です。

令和8年4月末頃に新装置が稼働予定

このたび当院では、MRI装置を更新することとなり、令和8年4月末頃に新しい装置の稼働を予定しています。なお、新装置の導入に伴い、令和8年2月末より更新工事を開始する予定です。工事期間中はMRI検査に制限が生じるため、一部診療への影響も避けられません。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新装置の主な特長

新しいMRI装置は、患者さまにとっても医療機関にとっても、多くのメリットがあります。

・画像がより鮮明に

AI技術により画像の精度が向上し、現在の装置では見つけにくかった脳の微細な異常や関節の損傷も、より明確に確認できるようになります。

・検査時間が短く

処理速度の向上により、同じ検査であればこれまでの装置より撮影時間が短くなり、患者さまの負担が軽減されます。

・より快適な検査環境

内部空間が広がったことで、これまでの装置より圧迫感が軽減され、検査中の不快感も少なくなります。



地域の皆さまへ

最新のMRI装置の導入により、「より正確に、より早く、より快適に」検査を受けていただける環境が整います。今後とも、地域の中核病院として安全・安心な医療の提供に努めてまいります。